

未来志向のプライマリ・ケア

- 診療から経営まで -

主催 NPO(特定非営利活動法人：認証申請中)プライマリ・ケア教育ネットワーク

1. 開催趣旨

プライマリ・ケアの必要性が叫ばれて長い時間が経ちます。しかしプライマリ・ケアのインフラづくりはまだ多くの課題を抱えています。プライマリ・ケアの担い手である地域の家庭医としての開業医も、診療のあり方を手探りの状態で作っていている状態であり、地域住民との関係づくり、医院経営に当たってのさまざまな問題・課題に至っては、その問題・課題すらどこまで意識されているのか、といえる状況にあります。まさにプライマリ・ケア充実の指針がない、といえます。

私たちはプライマリ・ケア診療の作り手、実践家、経営支援専門家、地域の住民といったさまざまな立場の人間が集まって、プライマリ・ケアを考え、環境づくりを行い、プライマリ・ケアを担う医師、医療スタッフを育てていこうと、このNPO法人(認証申請中)を立ち上げました。

NPO(法人認証申請中)プライマリ・ケア教育ネットワークでは、発足を記念して、プライマリ・ケアをさまざまな角度から議論し、患者のニーズに応えるプライマリ・ケアとそのための教育法を考えていく手がかりを探っていきたいと思えます。多数の医師、医療スタッフの参加を期待しています。

2. 内容

基調講演 「未来志向のプライマリ・ケア」

理事長・名古屋大学教授 伴 信太郎

講演1 「開業医として、教育家として」

木戸医院 木戸 友幸

講演2 「新時代のクリニックとは」

株式会社メディヴァ社長 大石 佳能子

講演3 「地域住民の視点 - 期待するものは何か」

理事・春日井市松新地区市街地再開発組合理事長 山本 道雄

講演4 「法律からみる医療事情」

理事・トアロード法律事務所弁護士 永井 幸寿

講演5 「赤ひげにも先立つものは必要 - お金の話」

監事・増田経営会計事務所税理士 増田 泰之

パネル 「プライマリ・ケアをどう育てていくか」

コーディネート 副理事長・株式会社メディサイト社長 松村 眞吾

3. 演者紹介

伴 信太郎 京都府立医大卒業後、米国留学(レジデント研修)、川崎医大総合診療部などを経て名古屋大学付属病院総合診療部教授。家庭医療学会でも代表としても活躍した。

木戸 友幸 大阪医大卒業後、米国留学(家庭医レジデント研修)などを経て木戸医院副院長。大阪医大臨床教授などとして家庭医育成に注力。

山本 道雄 愛知学芸大学(現 愛知教育大学)卒業後、小牧市内小・中学校校長や小牧市教育長を歴任。春日井市松新地区市街地再開発組合理事長として医療モール計画に尽力。

大石佳能子 阪大卒業後、マッキンゼー社パートナーなどを経て(株)メディヴァ社長。患者視点からの新しいクリニックのあり方を提案。ハーバード大学 MBA。

永井 幸寿 早稲田大学卒業後、司法試験合格。阪神大震災復興に尽力。さまざまな医療訴訟に係わる。元兵庫県弁護士会副会長。トアロード法律事務所弁護士。

増田 泰之 関西学院大学卒業後、税理士に。増田経営会計事務所代表。医事会計を多数、手掛ける。医療経営団体 MMPG 理事。神戸大学 MBA。

松村 眞吾 慶応大学卒業後、近鉄勤務を経て(株)メディサイト社長。徹底した患者参加型、医療スタッフの活性化実現を目指す。神戸大学 MBA。

4. 日時 2005年10月15日(土) 午後2時から午後5時まで(午後1時半受付開始)

5. 場所 名古屋大学医学部鶴友会館2階

名古屋市昭和区鶴舞町 65番地

<http://www.nagoya-u.ac.jp/sogo/tsurumai.html>

最寄り駅：JR 鶴舞駅(名大病院口)徒歩3分、地下鉄 鶴舞駅徒歩8分

6. 参加費 1,000円

7. 定員 100名(定員に到達次第締め切らせて頂きます)

8. お問合せ先 名古屋大学付属病院総合診療部

TEL 052-744-2951

e-mail juichi@med.nagoya-u.ac.jp

当日、当法人入会を受け付けます。よろしくお願い申し上げます。